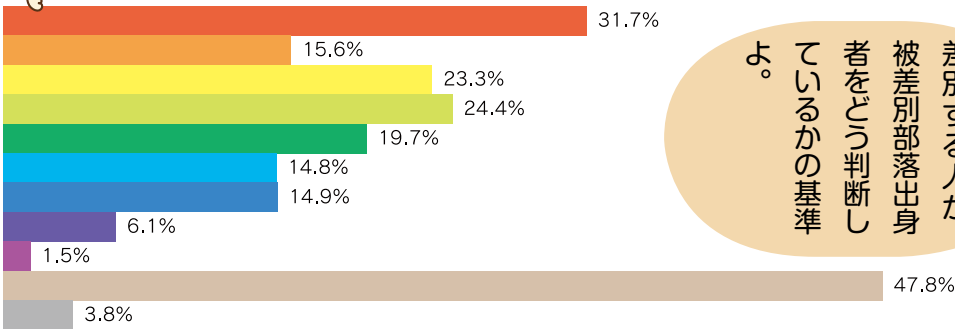


④差別はされる人の問題ではなく、する人の問題！



あなたは、世間ではどのようなことで

同和地区(被差別部落)出身者と判断していると思いますか？



- 本人が現在、同和地区(被差別部落)に住んでいる
- 本人が過去に同和地区(被差別部落)に住んだことがある
- 本人の本籍地が同和地区(被差別部落)である
- 本人の出生地が同和地区(被差別部落)である
- 父母あるいは祖父母が同和地区(被差別部落)に住んでいる
- 父母あるいは祖父母の本籍地が同和地区(被差別部落)である
- 父母あるいは祖父母の出生地が同和地区(被差別部落)である
- 職業によって判断している
- その他
- 無回答・不明
- わからない

差別する人が、被差別部落出身者をご判断しているかの基準



「わからな」が47.8%で一番割合が高い。あとはそれぞれの項目が15〜30%くらいの割合か…。えっ、これって人によって判断基準がバラバラってことなの？

そうよ。差別する人が、差別される対象をそれぞれの判断基準でつくりだしている…。つまり、部落差別は一人一人が頭の中でつくり続けている差別なの。このことにあらゆる人が気付いていくことが、差別解消の第一歩よ。

そして、正しいことをきちんと学んでいけば、一人一人が頭の中でつくりだすことなら変えられる。



「一緒に学んでいこうよ」といって、差別とは何か、何が差別を生み出すのか、思いこみや決めつけ、「昔から」「みんなが言っているから」という意識、部落差別についても起源や歴史、現状、差別をなくす取組…

一緒に学んでいこうよ。



学びを深める資料はこちら

うん。つまり、部落差別は、わたしが変わることで「なくせる」「いや」なくすことができるんだね。

このことに、下のグラフの人たちが気付いていけば…そして、差別を許さず、なくすための行動を取る人が増えていけば…きっと。



あなたは、同和地区(被差別部落)の人たちに対する結婚差別や就職差別は、将来なくすことができると思いますか



- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない
- わからない